

# リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2022年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)		
工期	令和4年11月14日 ~ 令和4年11月30日		作成者	中島 強太		
作業名称	集水井水抜き工(荘川猿丸地区 1号井)	作業手順書	作成年月日	令和4年11月7日		
使用機械 使用設備	10t吸引車、高圧洗浄車両、 クレーン付きユニック、ダンブトラック		改正年月日			
	スコップ、ほうき、パール、ブロワー 発電機(2KVA)、送風機300Φ(ダクト付)、敷鉄板(5×10)		現場責任者			
使用工具、機器	ヘルメット、安全靴、脚絆、マスク、手袋、視認性の良い作業着		協力会社	会社名		
	自動車運転免許証(大型) 酸素欠乏危険作業主任者		協力会社責任者	自筆サイン		
保護具	ヘルメット、安全靴、脚絆、マスク、手袋、視認性の良い作業着		作業順序			
材料						
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	自動車運転免許証(大型)				1	事前準備
	酸素欠乏危険作業主任者				2	出発～現場
作業人員	作業責任者 1人、作業員 5名 ※作業量に応じて人員増員あり				3	事前草刈
	合計 6名				4	仮設通路板設置
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日			5	貯水除去
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自筆サインする)		6	排水管汚泥除去		
			7	仮設通路板撤去		
				後片付け		

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対する周知
性	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対する指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための実施すべき事項の特定	
(誰が)	主なステップ	作業のポイント	(予想されるミス・ロス)						(防止対策)	
準備作業(全員)		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。								
現地確認(全員)	作業箇所確認	危険ポイントの確認								
ケーブル等周辺安全確認(埋設物・構造物)	管理用図面で事前確認	図面がない露出ケーブルを剣スコップや鎌で損傷させる	△	×	△	×	4	安	作業前に全員で現場を確認し、ケーブルの有無を全員が把握する	
事前準備	出発前の車両点検及び道具の準備	忘れ物がないよう全員で準備を行う	重量物を降ろしたり運ぶ際に腰を痛める	×	○	×	○	3	安	重量物を運ぶ際は、2名以上で声を掛け合いながら運ぶ。
出発～現場	規制内への流入する	事前に規制責任者へ報告	規制内流入時、一般車が規制内へ誤進入し、保安員と接触する	○	×	○	×	3	安	回転灯、ハザード、ウインカーの順でルールを守る
事前草刈	資機材搬入路の草刈を実施する	保護具の着用 露出ケーブルの注意	構造物及び露出ケーブルを草刈刃で切断させてる	△	×	△	×	4	公	事前に構造物及び露出ケーブルの有無を確認し明示または保護材にて保護を実施し、全員に周知する
仮設通路板設置	駐車場通路部の段差を敷鉄板及び小型土嚢設置	敷地外作業時の通行の妨げ及び無許可	土嚢及び敷鉄板設置時、重量物の下に入り重大事故となる	△	×	△	×	4	安	有資格者の元、クレーンを使用し 作業範囲内は立入りを禁止する。
貯水除去	集水井貯水及び排水を吸引車にて除去を行う	吸引及び排水時の作業方法の注意	吸引及び排水を実施する際、酸素欠乏症になり倒れる	×	×	×	×	5	安	酸素欠乏危険作業主任者を設け、作業都度に測定機を使用し酸素の供給状況の確認 作業時は、送風機を設置し集水井内へ酸素の供給を確保する事
			汚泥吸引時、堆積物が多く足元が不安定になり沈下する	△	△	△	△	3	安	汚泥吸引時は、足元が不安定かつ堆積物の量が多分らない為、事前に確認を実施する
排水管汚泥除去	排水路管内の汚泥を高圧洗浄車にて除去する	高圧作業時、他作業員への接触及び転倒	排水路管内を除去実施する際、酸素欠乏症になり倒れる	×	×	×	×	5	安	酸素欠乏危険作業主任者を設け、作業都度に測定機を使用し酸素の供給状況の確認 作業時は、送風機を設置し集水井内へ酸素の供給を確保する事
			汚泥吸引時、堆積物が多く足元が不安定になり沈下する	△	△	△	△	3	安	汚泥吸引時は、足元が不安定かつ堆積物の量が多分らない為、事前に確認を実施する
仮設通路板撤去	駐車場通路部の段差を敷鉄板及び小型土嚢撤去	敷地外作業時の通行の妨げ及び無許可	土嚢及び敷鉄板設置時、重量物の下に入り重大事故となる	△	×	△	×	4	安	有資格者の元、クレーンを使用し 作業範囲内は立入りを禁止する。
後片付け	忘れ物がないか全員で最後に現場周りを確認	回収した汚泥は適切な処理方法(マニフェスト記載)にのっとり処分する								
現場離脱	現場から離脱する	安全に離脱する	一般車との接触する。	△	×	△	×	4	安	保安員の合図で現場規制内から離脱する
			荷台から物を落とし、一般車に当たる	×	△	×	△	2	安	現場離脱前に必ず荷台の点検・確認を行うこと。
									工事車両幕を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事	